

令和6年度「実践型地域政策づくり講座」実施要領

1 目的

先進的な取組みを行う地域において、政策課題の分析や問題の構造化等の政策形成に関する基礎的な手法等を学ぶとともに、フィールドワークにより地域の空き家や移住者の実態を把握し、グループワークにより空き家の活用法や移住施策の立案を行うことにより、実践的な地域政策づくりのノウハウや手法を習得する。

2 対象者 希望する県及び市町等職員

3 定員 24名(県18名、市町等6名)

4 期間(2日間) 令和6年10月3日(木)～10月4日(金)
【初日受付 9:00～9:20】【開講式 9:30～】【最終日終了予定 16:30頃】

5 課目・時間数・講師

課目	時間数	予定講師等
地域での取組と課題(空き家活用と移住策)	1	愛媛大学 地域協働推進機構 客員教授 非常勤講師 前田 眞 伊予市移住サポートセンター 移住カウンセラー 富田 敏 一般社団法人えひめ暮らしネットワーク 参事 本多 正彦 伊予市 双海地域事務所 主査 井上 裕章
フィールドワーク	2	
課題の選定及び基本理念、政策目標の構築	2	
問題解決手法の構築	1	
生活・地域問題解決、協働型政策の立案及びその効果予測	3	
発表の準備	1	
発表・講評	2	
合計	12	

6 実施場所

ふたみ潮風ふれあい公園「潮風ふれあいの館」(伊予市双海町高岸)等

7 旅費

・県職員の旅費は、一般の出張として取り扱うこと。

(ふたみ潮風ふれあいの館へ宿泊する場合は、1人1泊につき1,500円を現地にて支払い(朝夕の食事提供なし)。旅費システムの「旅行命令簿に記載する事項」欄に「ふたみ潮風ふれあいの館へ宿泊・朝夕の食事提供なし」と表記し、宿泊料を宿泊代実費額(1,500円/1泊)に調整、食卓料相当額(2,200円/1泊)を請求すること。

・市町等職員の旅費は、所属市町等の規定に基づき支給すること。

8 経費

・食費実費相当 ※1食500円程度

9 その他

・入所に当たり「研修の手引」(研修所HP参照)により準備をすること。

10 日程表

月日	9:00	9:30	8:30	9:10	10:10	11:10	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:50
10月 3日 (木)			受付 (9:00～9:20)	開講式 オリエンテーション	地域での取組と課題	フィールドワーク	昼食・休憩	フィールドワーク	課題の選定及び基本理念、政策目標の構築		問題解決手法の構築	
10月 4日 (金)	全員集会 (9:00～9:10)				生活・地域問題解決、協働型政策の立案及びその効果予測		昼食・休憩	発表の準備		発表・講評		修了式

※課目及び日程は、現時点の予定のため、変更が生じる場合があります。